

ROOT Q for Trauma
Ver1.0
操作マニュアル

初版

2012年5月

特定非営利活動法人(NPO)ヘルスサービスR&Dセンター(CHORD-J)

改版履歴

版数	発行日	備考
初版	2012/5/15	

参照ドキュメント

■ROOT Q for Trauma インストールマニュアル



目次

1 はじめに.....	3
1.1 表記規則.....	3
2 システムインストール方法.....	3
3 システム起動方法.....	3
4 システムへのログイン.....	4
4.1 ライセンス認証するには.....	4
4.2 通常のログイン(ライセンス認証済みの場合).....	10
4.3 試用ユーザでのログイン.....	11
5 患者情報を登録するには.....	12
5.1 患者情報を新規に登録するには.....	12
5.2 患者情報を検索するには.....	14
5.3 患者情報を編集するには.....	16
5.4 患者情報の入力を完了とするには.....	19
5.5 患者情報の入力完了を取り消すには.....	20
6JTDB サーバとデータ通信するには.....	22
6.1JTDB サーバとデータ同期するには.....	22
6.2JTDB サーバへ患者情報をアップロードするには.....	23
6.3JTDB サーバから患者情報をダウンロードするには.....	24
6.4JTDB サーバからユーザ情報をダウンロードするには.....	25
6.5ROOT Q β (Ver.0.9.1)からバージョンアップした施設の場合.....	26
7 患者情報を外部から取り込むには.....	28
7.1 準備.....	28
7.2 外部データ取込の実行.....	33
8 動作環境を設定するには.....	35
8.1 表示言語を切り替えるには.....	35
8.2 画面表示のフォントサイズを変更するには.....	35
9 データベースをバックアップするには.....	36
10 患者データを全て削除するには.....	37
11 データベースをリストア(復元)するには.....	38

1 はじめに

本書は、「ROOT Q for Trauma」(以下本システムといいます)の操作方法を説明するものです。

1.1 表記規則

規則	意味
「大メニュー」 「小メニュー」	メニューの名称を表します。メニューの大項目と小項目の間は、縦線で区切って表します。
□	大カッコ内は、画面やダイアログボックスに表示される文字、またはキーボードのキーを表します。
<>	山カッコ内は、ユーザが入力する内容を表します。
→	操作したあとの結果を表します。
 注意	ご使用となるうえでの注意事項を表します。
 参照	ほかのマニュアルやヘルプの参照先を表します。

2 システムインストール方法

システムを利用するには、システムをご利用コンピュータにインストールをする必要があります。



参照 システムのインストール方法については、別紙「ROOT Q for Trauma インストールマニュアル」をご参照ください。

3 システム起動方法

デスクトップ上の「ROOT Q for Trauma」アイコンをダブルクリックします。

または

[スタート]-[すべてのプログラム]-[ROOT Q for Trauma]を選択します。

→これにより[ログイン]画面が表示されます。

4 システムへのログイン

システムを起動すると、ログイン画面が表示されます。

JTDB サーバとの通信を可能とするには、ライセンス認証をする必要があります。

ライセンス認証は1度行くと、次回ログイン以降、実施の必要はありません。

4.1 ライセンス認証するには

ライセンス認証をすると、下記の事項が可能になります。

- ・JTDB サーバとの通信が可能となり、本システムに登録したデータを JTDB サーバにアップロード可能になります
- ・登録可能な最大患者数の制限が無くなります。

ライセンス認証をするには、下記の条件を満たしていることが必要です。

- ・インターネットに接続可能なコンピュータに本システムをインストールすること

ライセンス認証をするには、[ログイン]画面で下記の入力を行います。

- ① ユーザ名に、JTDB のユーザ名を入力します。
- ② パスワードに、JTDB のパスワードを入力します。
- ③ [ライセンス認証]を押します。

ログイン

ROOT Q for Trauma (√Q) Ver. 1.0 試用版

ユーザ名: ①

パスワード: ②

ログイン(Q)

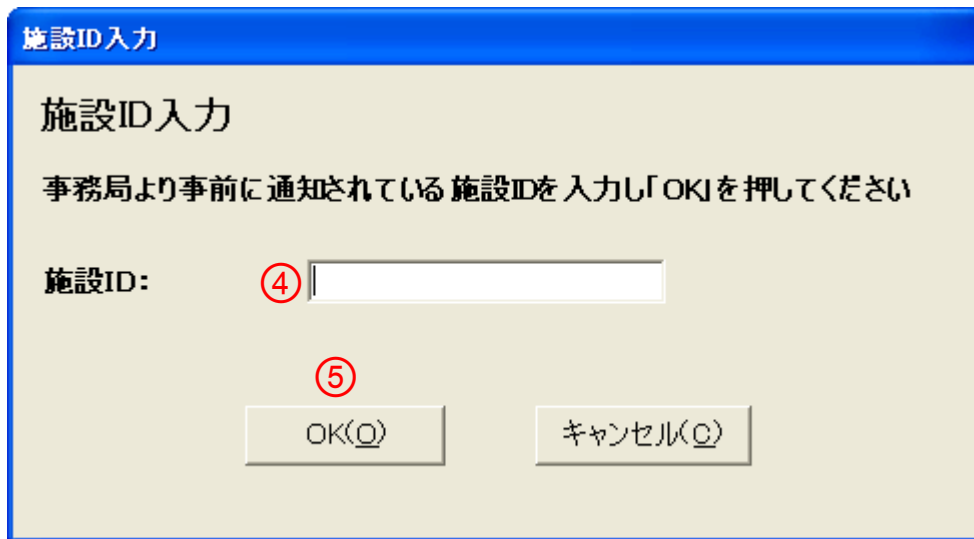
環境設定(E)

English(L)

キャンセル(Q)

③
ライセンス認証(Q)

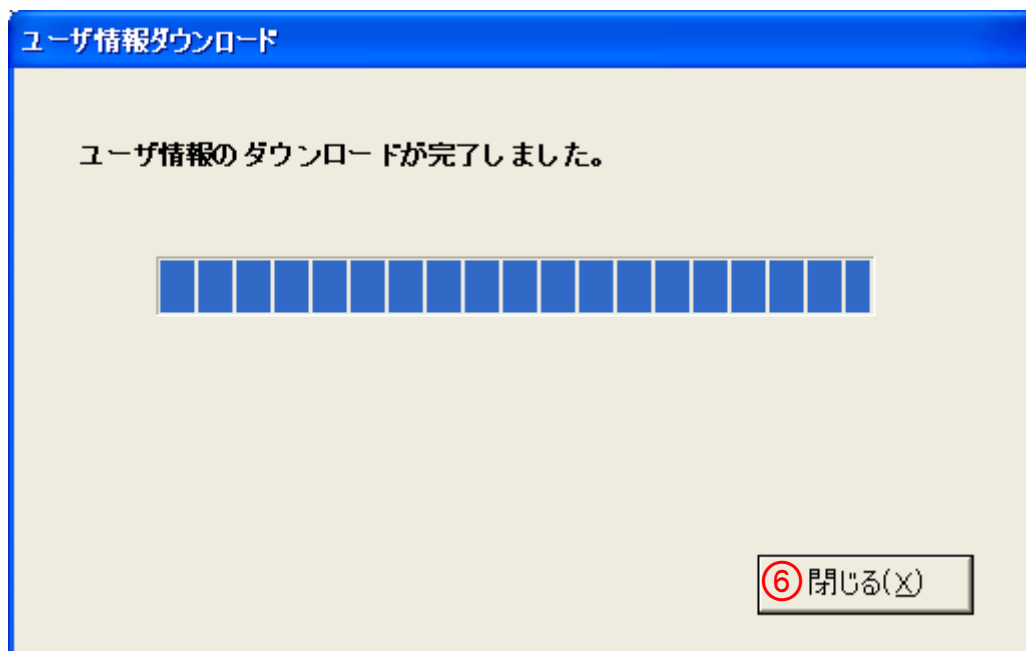
次に、[施設 ID 入力]画面が表示されます。



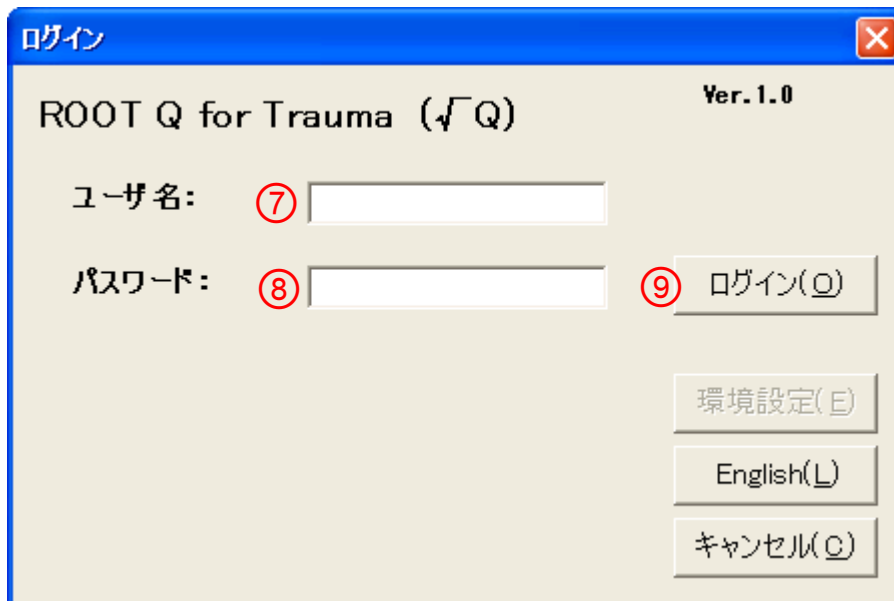
④事務局より通知のあった施設 ID を入力します。

⑤[OK]を押します。

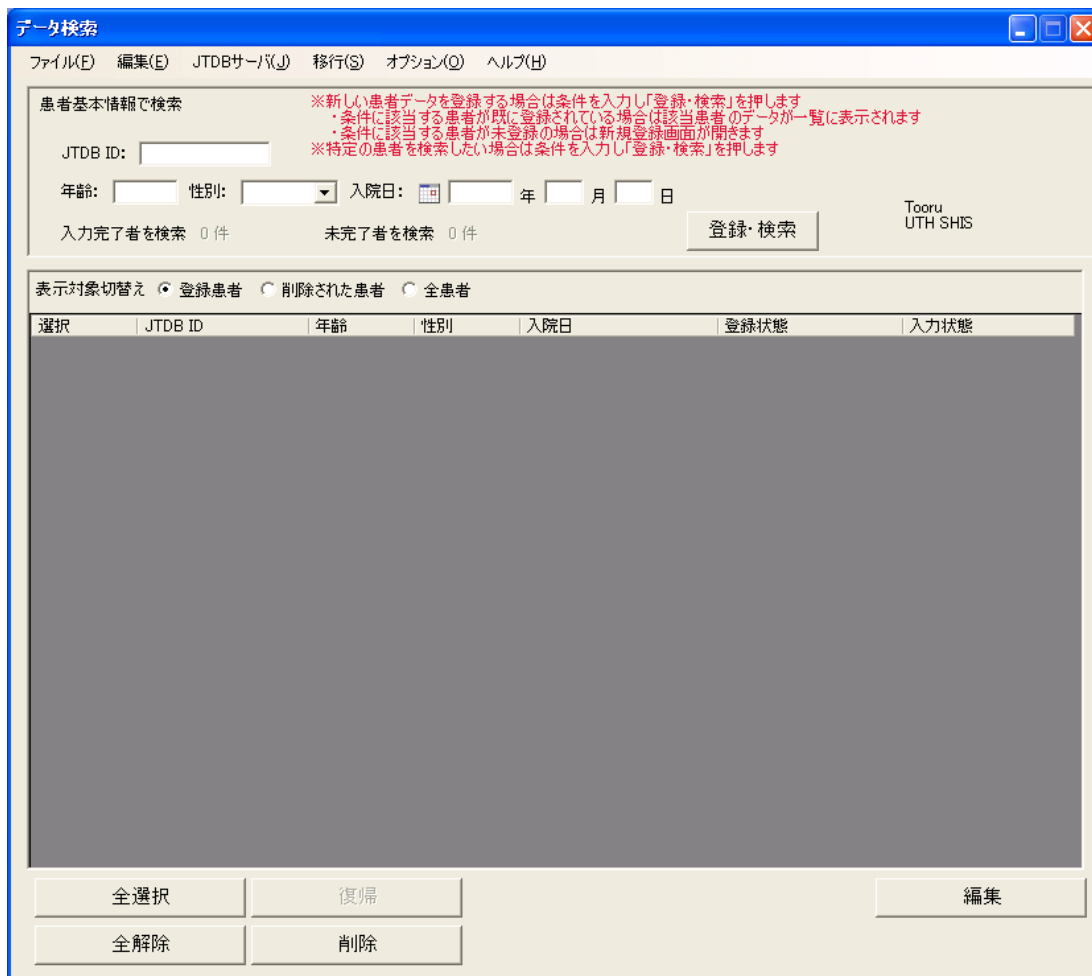
このあと、JTDB サーバとの通信が行われます。ライセンス認証が正常に完了すると、下記画面が表示されます。



⑥[閉じる]を押します。このあと[ログイン]画面が表示されます。



- ⑦ユーザ名に、JTDBのユーザ名を入力します。
- ⑧パスワードに、JTDBのパスワードを入力します。
- ⑨[ログイン]を押します。下記の画面が表示されます。





注意 試用ユーザにて登録した患者データは、ライセンス認証後にライセンス認証ユーザでログインした際に表示されます。(そして、ライセンス認証後は試用ユーザでログイン不可になります)

この後、JTDB サーバとの最初の同期をご実施ください。



注意 【重要】JTDB サーバとの最初の同期時の注意点

下記のいづれかに該当する場合、下記【*1】の項をご確認いただいた後、同期をご実施ください。

- ・試用ユーザでログインし患者データを登録した場合
- ・本システムのβバージョン(Ver0.9.1)を以前から使用し患者データを登録している施設

【*1】

最初の同期時に、本システムに登録した患者情報は全て JTDB サーバにアップロードされます。このため、試用ユーザにて入力した本当ではない患者データや、WEB システム (<https://weds.shis.uth.tmc.edu/JTDB/index.cfm>) で JTDB サーバに登録済みの患者と同じ患者のデータは、同期の前に、本システムでデータ削除をしてください。



参照 データ削除は、「5.3.2 患者情報の削除」項の完全に患者を削除するには、の手順をご実施ください。

JTDB サーバとの同期を実行するには、

メニューより「JTDB サーバ」-「全て同期」を選択します。下記の画面が表示されます。

JTDB Service

全て同期

ユーザー名: user0011

パスワード: ⑩ *****

※ ユーザ名の表記は1例です。

JTDBサーバとの間でユーザーデータ、患者データを同期します。 ⑪ 実行(O)

同期を実行するにはパスワードを入力し「実行」を押してください。

キャンセル(O)

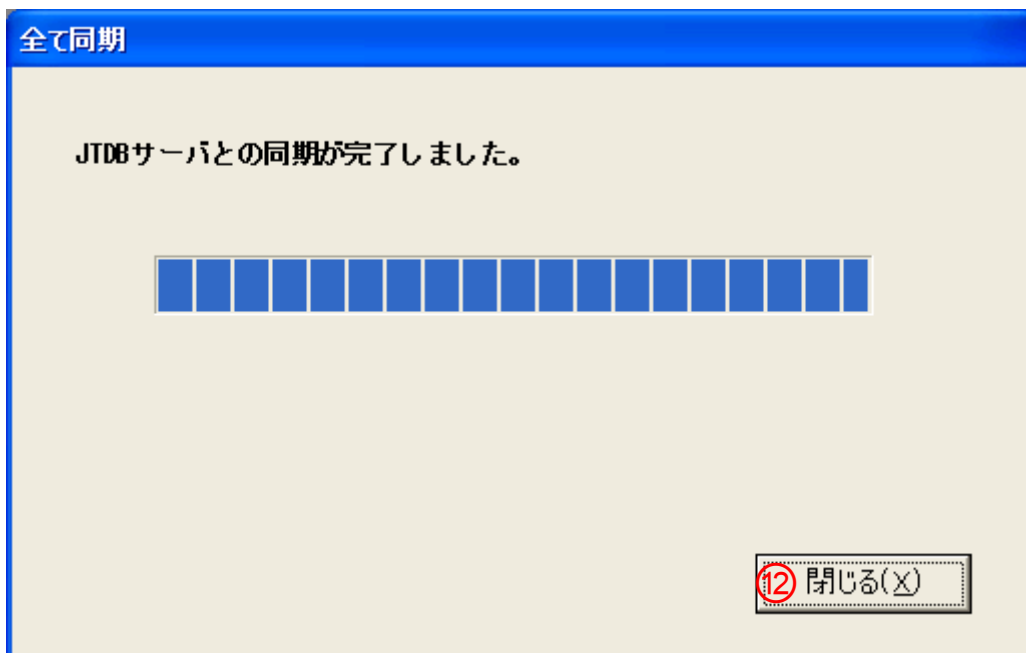
⑩パスワードを入力します。

⑪[実行]を押し、JTDB サーバとの同期を実行します。

※この後、JTDB サーバとの間で下記通信が順番に行われます。

- ・本システムで入力した患者情報が、JTDB サーバにアップロードされます。
- ・JTDB サーバの WEB システム (<https://weds.shis.uth.tmc.edu/JTDB/index.cfm>) で入力した患者情報が、JTDB サーバから本システムにダウンロードされます。
- ・JTDB サーバに登録済みの利用者ユーザ情報が、JTDB サーバから本システムにダウンロードされます。

同期が完了すると下記画面が表示されます。



⑫[閉じる]を押します。



注意 最初の同期は、JTDB サーバに既に登録されている患者数の量により時間がかかります。

4.2 通常のログイン(ライセンス認証済みの場合)

- ①ユーザ名に、JTDB のユーザ名を入力します。
- ②パスワードに、JTDB のパスワードを入力します。
- ③[ログイン]を押します。

ログイン

ROOT Q for Trauma (√Q) Ver. 1.0

ユーザ名: ①

パスワード: ② ③ ログイン(O)

環境設定(E)

English(L)

キャンセル(O)

4.3 試用ユーザでのログイン

ライセンス認証を行う前に、下記の操作にて、試用ユーザ(rootq)でログインするとシステムを試用することができます。

- ①ユーザ名に< **rootq** >と入力します。
- ②パスワードに< **trial** >と入力します。
- ③[ログイン]を押します。

ログイン

ROOT Q for Trauma (√Q) Ver. 0.9.1.0 試用版

ユーザ名: ① rootq

パスワード: ② ***** ③ ログイン(O)

環境設定(E)

English(L)

キャンセル(O)

ライセンス認証(D)

試用ユーザの場合、以下の利用制限があります。

- ・JTDB サーバとの通信はできません。
- ・登録可能な患者数は最大 50 人迄です。

※ライセンス認証を実施すると、この制限はなくなります。



参照 ライセンス認証の手順は、「4.1 ライセンス認証するには」をご参照ください。

5 患者情報を登録するには

5.1 患者情報を新規に登録するには

メニューより「ファイル」-「データ登録検索」を選択します。

- ①登録する患者の条件(JTDB ID、年齢、性別、入院日の何れか、または全て)を入力します。
- ②[登録・検索]を押します。

データ検索

ファイル(F) 編集(E) JTDBサーバ(J) 移行(S) オプション(O) ヘルプ(H)

患者基本情報で検索

※新しい患者データを登録する場合は条件を入力し「登録・検索」を押します
・条件に該当する患者が既に登録されている場合は該当患者のデータが一覧に表示されます
・条件に該当する患者が未登録の場合は新規登録画面が開きます
※特定の患者を検索したい場合は条件を入力し「登録・検索」を押します

① JTDB ID: 1101
年齢: 55 性別: 男性 入院日: 2012年05月07日

② 登録・検索

入力完了者を検索 97件 未完了者を検索 22件

ユーザ0011
施設001

表示対象切替え 登録患者 削除された患者 全患者

選択	JTDB ID	年齢	性別	入院日	登録状態	入力状態
----	---------	----	----	-----	------	------

全選択 復帰 編集
全解除 削除

ここで、上記で条件に入力した患者情報が、データベースに登録されていない場合は、以下の画面が表示されます。

③[登録]を押します。

患者データ新規登録

JTDB ID: 1101

年齢: 55

月齢:

性別: 男性

入院日: 2012 年 05 月 07 日

登録(X)

キャンセル(O)

次に、以下の画面が表示されます。この画面で患者情報を編集していきます。

編集操作については、「5.3 患者情報を編集するには」をご参照ください。

データ登録 - 患者初期情報

ファイル(F) 編集(E) JTDBサーバ(W) 移行(S) オプション(O) ヘルプ(H)

JTDB ID: 1101 年齢: 55 月齢: 性別: 男性 病院到着日: 2012 年 05 月 07 日 ユーザ0011

患者初期情報(F2) 病院前情報(F3) 転送情報(F4) 来院時情報(F5) 検査・処置・手術(F6) 診断名と損傷重傷度(F7) 入退院情報(F8) 施設001

患者初期情報

JTDB ID(*): 1101

年齢(*): 55 月齢:

性別(*): 男性

受傷日時: 年 月 日 時 分 推定 不明

外傷原因(*):

外傷分類(*): 未入力 鈍的 鋭的 熱傷 他 不明

受傷機転(*): (I) 未入力 不明 該当なし

登録(X) リセット 一覧へ戻る(B)



注意 JTDBID 登録時の注意

JTDB ID には患者を識別する ID を登録します。JTDB ID から患者個人の特定が

できないよう、JTDB ID には院内のカルテ番号・患者 ID とは別の ID を登録してください。

5.2 患者情報を検索するには

メニューより「ファイル」-「データ登録検索」を選択します。

検索方法1)

- ①検索する患者条件(JTDB ID,年齢,性別,入院日の何れか)を入力します。
- ②[登録・検索]を押します。(ここで条件に該当する患者情報が存在しない場合は、患者新規登録画面が表示されます。再検索する場合は同画面をキャンセルした後、再検索してください)

検索方法2)

- ③[入力完了者]をクリックします。
- または
- ④[入力未完了者]をクリックします。

データ検索

ファイル(F) 編集(E) JTDBサーバ(J) 移行(S) オプション(O) ヘルプ(H)

患者基本情報で検索 ※新しい患者データを登録する場合は条件を入力し「登録・検索」を押します
※条件に該当する患者が未登録の場合は新規登録画面が開きます
※条件に該当する患者が未登録の場合は新規登録画面が開きます
※特定の患者を検索しない場合は条件を入力し「登録・検索」を押します

JTDB ID: ①

年齢: 性別: 入院日: 年 月 日

入力完了者を検索 97件 ③ 入力未完了者を検索 22件 ④ 登録・検索

ユーザー011
施設001

表示対象切替え 登録患者 削除された患者 全患者

選択	JTDB ID	年齢	性別	入院日	登録状態	入力状態
----	---------	----	----	-----	------	------

全選択 復帰 編集
全解除 削除

⑤条件に一致する患者情報の一覧が表示されます。

データ検索

患者基本情報で検索

※新しい患者データを登録する場合は条件を入力し「登録・検索」を押します
 ※条件に該当する患者が既に登録されている場合は該当患者のデータが一覧に表示されます
 ※条件に該当する患者が未登録の場合は新規登録画面が開きます
 ※特定の患者を検索したい場合は条件を入力し「登録・検索」を押します

JTDB ID:

年齢: 性別: 入院日: 年 月 日

入力完了者を検索 97件 未完了者を検索 23件

登録・検索

表示対象切替え 登録患者 削除された患者 全患者

選択	JTDB ID	年齢	性別	入院日	登録状態	入力状態
<input checked="" type="checkbox"/>	0011	80	男性	2009/09/25	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0012	14	男性	2012/05/01	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0013	30	女性	2011/07/30	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0014	28	女性	2011/09/01	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0015	54	男性	2012/05/03	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0016	32	女性	2012/05/06	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0017	73	男性	2011/12/31	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0018	23	女性	2012/02/16	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0019	44	男性	2011/11/29	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0020	56	男性	2011/07/25	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0021	42	女性	2011/11/15	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0022	81	男性	2011/11/30	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0023	46	男性	2011/09/16	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0024	25	女性	2011/12/03	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0025	2	男性	2012/01/01	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0026	43	男性	2011/12/20	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0027	75	女性	2012/05/07	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0028	83	女性	2011/12/31	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0029	47	女性	2011/08/03	有効	未完了

全選択 復帰 編集

全解除 削除

⑥表示対象を、切り替えることができます。

表示対象切替え 登録患者 削除された患者 全患者

選択	JTDB ID	年齢	性別	入院日	登録状態	入力状態
<input checked="" type="checkbox"/>	099111	30	男性	2008/10/01	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	099112	30	男性	2008/10/01	有効	未完了

⑦一覧の各項目のタイトル部をクリックすることにより、クリックした項目でソートして表示ができます。また同じ項目をクリックする毎に昇順、降順を切り替えることができます。

JTDB ID	年齢	性別	入院日	登録状態	入力状態
099111	30	男性	2008/10/01	有効	未完了
099112	30	男性	2008/10/01	有効	未完了
099113	30	男性	2008/03/14	有効	未完了

5.3 患者情報を編集するには

5.3.1 編集する患者情報の選択

編集する患者を選択します。選択方法は2通りあります。

選択方法1)

① 選択する患者の JTDB ID (青字の部分) をクリックします。

選択方法2)

② 行を選択し、[編集] を押します。(行を選択すると色が変わります。画面例では1行目が選択された状態です)

データ検索

患者基本情報で検索

JTDB ID:

年齢: 性別: 入院日: 年 月 日

入力完了者を検索 97 件 未完了者を検索 23 件

登録・検索

表示対象切替 登録患者 削除された患者 全患者

選択	JTDB ID	年齢	性別	入院日	登録状態	入力状態
<input checked="" type="checkbox"/>	0011	80	男性	2009/09/25	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0012	14	男性	2012/05/01	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0013	30	女性	2011/07/30	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0014	28	女性	2011/09/01	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0015	54	男性	2012/05/03	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0016	32	女性	2012/05/06	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0017	73	男性	2011/12/31	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0018	23	女性	2012/02/16	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0019	44	男性	2011/11/29	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0020	56	男性	2011/07/25	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0021	42	女性	2011/11/15	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0022	81	男性	2011/11/30	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0023	46	男性	2011/09/16	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0024	25	女性	2011/12/03	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0025	2	男性	2012/01/01	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0026	43	男性	2011/12/20	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0027	75	女性	2012/05/07	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0028	83	女性	2011/12/31	有効	未完了
<input type="checkbox"/>	0029	47	女性	2011/08/03	有効	未完了

全選択 復帰

全解除 削除

編集

5.3.2 患者情報の削除

③ [選択] 欄にてチェックした患者を削除します。

ここで削除した患者は、まだ完全には削除されていません(論理削除の状態)。

完全に患者を削除するには

[表示対象切替] 欄で [削除された患者] を選択します。次に、削除された患者の一覧が表示されますので、対象患者を選択し [完全に削除] を押します。

5.3.3 患者情報編集の基本操作

患者を選択すると、下記の編集画面が表示されます。

ここでは編集の基本操作を説明します。

①編集する情報のカテゴリを選択します。マウスでクリックする方法の他にファンクションキー(F2～F8)でも選択ができます。

②項目名の右に(*)と表示されている項目は、必須入力項目です。

③編集した情報をデータベースに登録します。

※このボタンを押したときの他に、以下の操作をした時に情報がデータベースに自動的に登録されます。

- ・①のカテゴリ表示を切り替えた時(例:患者初期情報が選択されている状態で、病院前情報を選択したとき)
- ・メニューから別機能呼び出したとき
- ・⑤[一覧へ戻る]を押したとき

④編集したデータを、画面表示時の状態に戻します。但し本画面から呼ばれるサブ画面で登録したデータは元には戻りません。

⑤患者情報の一覧に戻ります。

⑥編集エリアにあるボタンを押すと、以下のようなサブ画面が表示されます(この例では受傷機転)。

純的	交通事故	<input type="checkbox"/> 四輪車両運転者	<input type="checkbox"/> 四輪車助手席同乗	<input type="checkbox"/> 四輪車後部座席同乗
		<input type="checkbox"/> 自動二輪車運転者	<input type="checkbox"/> 自動二輪車同乗者	<input type="checkbox"/> 自転車走行中
		<input type="checkbox"/> 歩行者	<input type="checkbox"/> その他の車両乗車中	
	墜落、転落	<input type="checkbox"/> 墜落(高所から)	<input type="checkbox"/> 転倒	<input type="checkbox"/> 転落(階段等)
	機械による外傷	<input type="checkbox"/> 回転体機械	<input type="checkbox"/> プレス機	<input type="checkbox"/> その他
	落下物、飛来物等	<input type="checkbox"/> 落下物、飛来物	<input type="checkbox"/> 爆発	
	扶圧	<input type="checkbox"/> 重量物による扶圧 <input type="checkbox"/> 家屋倒壊、土砂崩れ等		
	鉄道関連	<input type="checkbox"/> 電車に轢過、接触等		
	スポーツ中の事故	<input type="checkbox"/> スポーツ中の事故		
	その他	<input type="checkbox"/> その他の機転による純的損傷		
鋭的	<input type="checkbox"/> 刺創、切創 <input type="checkbox"/> 銃創 <input type="checkbox"/> 杖創(刺杖創) <input type="checkbox"/> その他の機転による鋭的損傷			
熱傷	<input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 熱湯 <input type="checkbox"/> 爆発 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> その他			

HISからの参照情報

2008年10月1日、16時頃に、自転車で走行中に、左折しようとした車に巻き込まれた。転倒した際に、左脇腹をガードレールに強くぶつかった。救急隊の到着時、意識は清明で受け答えもハッキリしていた。血圧100/60、脈拍110/分、呼吸数25回/分。約6時30分に到着。

サブ画面でデータの登録ができます。[HISからの参照情報]欄には、外部データから取込んだ参照情報が表示されます。サブ画面ではこの参照情報を参考にしながら、データの編集ができます。

⑦選択したカテゴリによっては、以下の画面のようにサブカテゴリ(薄い青い部分)がありません(下記例は病院前情報の場合)。

データ登録-病院前情報

ファイル(F) 編集(E) JTDBサーチ(W) 移行(S) オプション(O) ヘルプ(H)

JTDB ID: 0011 年齢: 34 月齢: 性別: 男性 病院到着日: 2009年 9月 25日 ユーザ0011

患者初期情報(F2) **病院前情報(F3)** 転送情報(F4) 来院時情報(F5) 検査・処置・手術(F6) 診断名と損傷重傷度(F7) 入退院情報(F8) 施設001

病院前情報 病院前処置・救急隊到着時の所見 ⑦

病院前情報

搬送経路(*):

搬送方法(*): 未入力 救急車 ドクターカー 自家用車 ヘリ
 独歩 他 不明 該当なし

消防機関名:

覚知日時(*): 推定 不明

到着日時(*): 推定 不明

傷病者接触日時: 推定 不明

現発日時(*): 推定 不明

病院着日時(*): 推定 不明

救急救命士同乗(*):

搬送時間: (自動計算) 到着日時~病院着日時

⑧入力を完了した情報は、本画面で操作は可能ですが、データベースへの登録はできません。入力完了の患者情報の場合、画面の下部に以下のメッセージが表示されます。

※このデータは完了データのため、編集してもデータベースには反映されません。

入力を完了した情報を編集するには、完了を取り消す必要があります。

5.4 患者情報の入力を完了とするには

- ①[入退院情報]を選択します。
- ②チェックを入れます。
- ③[登録]を押します。

データ登録-入退院情報

ファイル(F) 編集(E) JTDBサーチ(S) 移行(S) オプション(O) ヘルプ(H)

JTDB ID: 0011 年齢: 34 月齢: 性別: 男性 入院到着日: 2009年9月25日 ユーザ0011

患者初期情報(F2) 病院前情報(F3) 転送情報(F4) 来院時情報(F5) 検査・処置・手術(F6) 診断名と損傷重傷度(F7) 入退院情報(F8) 施設001

入退院情報 機能的目的度評価法(FIM)

入退院情報

入院日(*) 2009年9月25日 推定 不明

初期治療後入院病棟(*) 救命救急センター(ICU)

入院後診療科(*) 未入力 救急科(救急専従医) 外科 脳外科
 整形外科 形成外科 他 不明

人工呼吸管理日数: 日 ICU在室日数: 日

救急部退院/転科日(*) 年 月 日 推定 不明

救急部管理日数: 日 (自動計算) 入院日~救急部退院/転科日

退院日(*) 年 月 日 推定 不明

退院後転出先(*) 未入力

入院日数: 日 (自動計算) 入院日~退院日

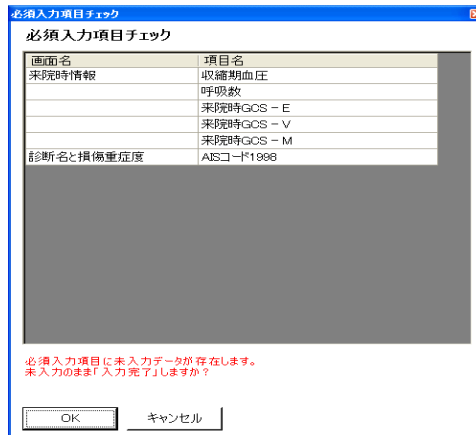
死亡時刻: 年 月 日 時 分 推定 不明

部検: 未入力

入力お疲れ様でした。全ての項目の入力が終了しました。ここをチェックしてください。

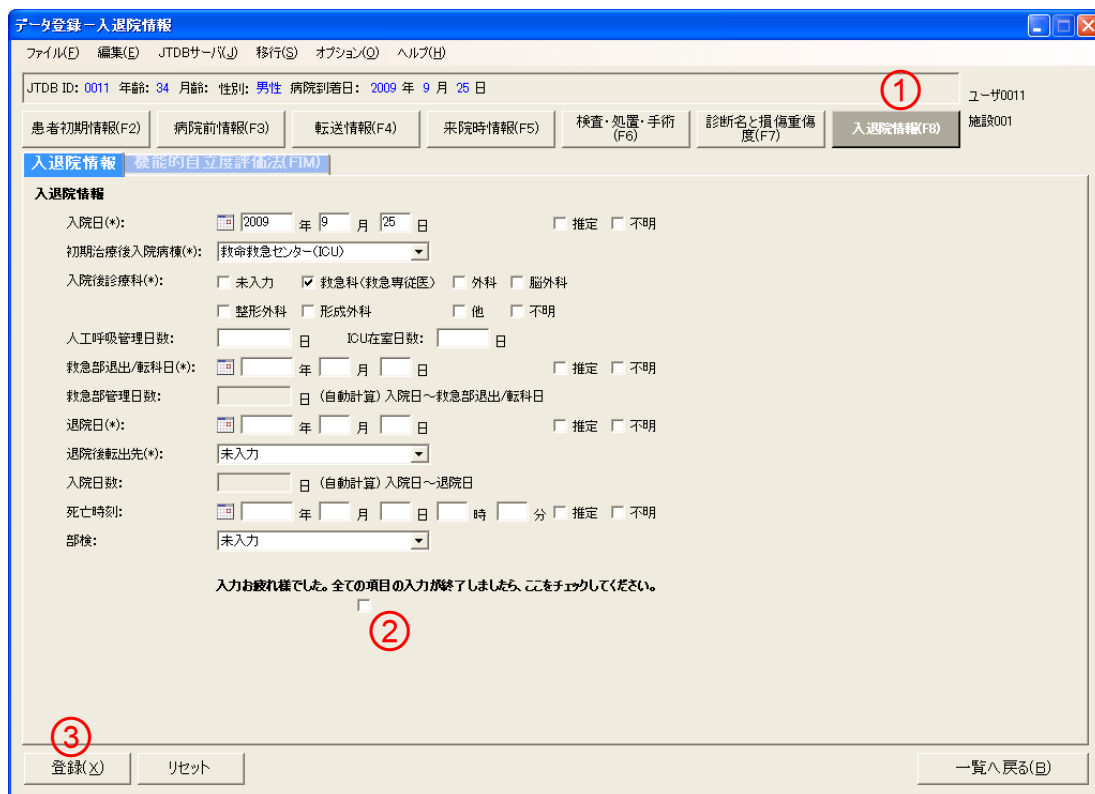
登録(X) リセット 一覧へ戻る(B)

②にチェックを入れた時に、必須入力項目が入力されていない場合、以下の画面が表示されます。未入力のままで完了するには、[OK]を押します。未入力の項目を入力し直すには、[キャンセル]を押します。



5.5 患者情報の入力完了を取り消すには

- ①[入退院情報]を選択します。
- ②チェックを外します。
- ③[登録]を押します。



6 JTDB サーバとデータ通信するには

JTDB サーバとデータ通信をするには、インターネットに接続可能なコンピュータに本システムをインストールする必要があります。

JTDB サーバにアップロードされたデータは、日本外傷データバンクに反映されます。

本機能を利用するには、ライセンス認証を行う必要があります。



参照 ライセンス認証の手順は、「4.1 ライセンス認証するには」をご参照ください。

6.1 JTDB サーバとデータ同期するには

メニューより「JTDB サーバ」-「全て同期」を選択します。

- ①パスワードを入力します。
- ②[実行]を押し、JTDB サーバとの同期を実行します。

The screenshot shows a window titled "JTDB Service" with a blue header. The main content area has a title "全て同期" (Full Sync). Below the title, there are two input fields: "ユーザ名:" (User Name) with the value "user0011" and "パスワード:" (Password) with a masked input "*****" and a red circled "1" next to it. To the right of the password field, there is a red note: "※ ユーザ名の表記は1例です。" (Note: User name notation is an example). Below the input fields, there is a text box containing the instruction: "JTDBサーバとの間でユーザデータ、患者データを同期します。同期を実行するにはパスワードを入力し「実行」を押してください。" (Synchronize user and patient data between JTDB servers. To execute synchronization, enter the password and press "Execute"). To the right of this text box are two buttons: "実行(O)" (Execute) with a red circled "2" and "キャンセル(O)" (Cancel).

※日々の運用時、本システムで入力した患者情報を JTDB サーバにアップロードするには、通常、この操作をご実施ください。

※本操作を行うと JTDB サーバとの間で下記通信が順番に行われます。

- ・本システムで入力した患者情報が、JTDB サーバにアップロードされます。
- ・JTDB サーバの WEB システム (<https://weds.shis.uth.tmc.edu/JTDB/index.cfm>) で入力した患者情報が、JTDB サーバから本システムにダウンロードされます。
- ・JTDB サーバに登録済みの利用者ユーザ情報が、JTDB サーバから本システムにダウン

ロードされます。

6.2 JTDB サーバへ患者情報をアップロードするには

メニューより「JTDB サーバ」-「アップロード」-「患者情報」を選択します。

- ①パスワードを入力します。
- ②[実行]を押し、アップロードを実行します。

The screenshot shows a window titled "JTDB Service" with a sub-header "患者情報アップロード". It contains a form with the following elements:

- ユーザ名:** user0011
- パスワード:** A text input field with a red circled "1" next to it.
- Red text:** ※ ユーザ名の表記は1例です。
- Buttons:** "実行(O)" (with a red circled "2") and "キャンセル(O)".
- Instructions:** 患者データをJTDBサーバにアップロードします。アップロードを実行するにはパスワードを入力し「実行」を押してください。

※本操作を行うことにより本システムで入力した患者情報が、JTDB サーバにアップロードされます。

※本操作による処理は、「6.1 JTDB サーバとデータ同期をするには」の操作時にも行われます。

※一度アップロードした患者情報は、本システムで再度編集しない限り、アップロードされません。

6.3 JTDB サーバから患者情報をダウンロードするには

メニューより「JTDB サーバ」-「ダウンロード」-「患者情報」を選択します。

- ①パスワードを入力します。
- ②[実行]を押し、患者情報のダウンロードを実行します。

JTDB Service

患者情報ダウンロード

ユーザー名: user0011

※ ユーザ名の表記は1例です。

パスワード: ①*****

JTDBサーバから患者データをダウンロードします。
ダウンロードを実行するにはパスワードを入力し「実行」を押してください。

②実行(O)

キャンセル(O)

※本操作を行うことによりJTDB サーバの WEB システム

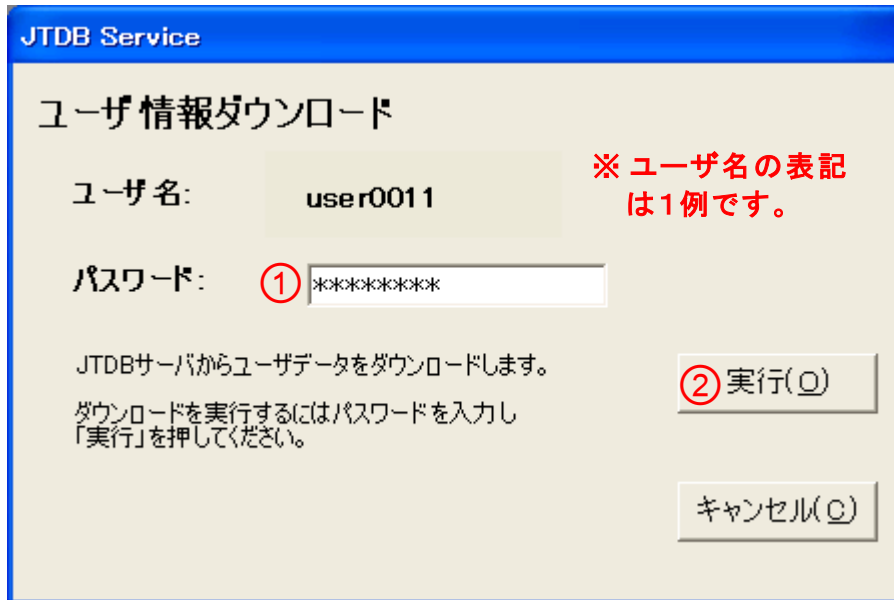
(<https://weds.shis.uth.tmc.edu/JTDB/index.cfm>)で入力した患者情報が、JTDB サーバから本システムにダウンロードされます。

※本操作による処理は、「6.1 JTDB サーバとデータ同期をするには」の操作時にも行われます。

6.4 JTDB サーバからユーザ情報をダウンロードするには

メニューより「JTDB サーバ」-「ダウンロード」-「ユーザ情報」を選択します。

- ①パスワードを入力します。
- ②[実行]を押し、ユーザ情報のダウンロードを実行します。



The screenshot shows a dialog box titled "JTDB Service" with the main heading "ユーザ情報ダウンロード". It contains the following elements:

- A "ユーザ名:" label followed by a text box containing "user0011". To the right of this box is a red note: "※ ユーザ名の表記は1例です。"
- A "パスワード:" label followed by a text box containing "*****". A red circled "1" is placed to the left of the password box.
- Below the password box, there is explanatory text: "JTDBサーバからユーザデータをダウンロードします。ダウンロードを実行するにはパスワードを入力し「実行」を押してください。"
- Two buttons are located at the bottom right: "② 実行(O)" and "キャンセル(O)". The "実行(O)" button has a red circled "2" next to it.

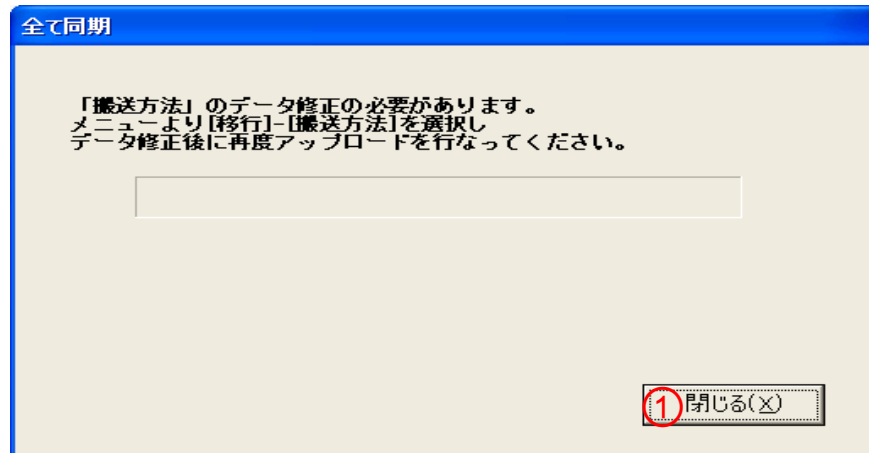
※本操作を行うことによりJTDB サーバに登録済みの利用者ユーザ情報が、JTDB サーバから本システムにダウンロードされます。

※本操作による処理は、「6.1 JTDB サーバとデータ同期するには」の操作時にも行われます。

6.5 ROOT Q β (Ver.0.9.1)からバージョンアップした施設の場合

ROOT Q の以前のバージョン β (Ver.0.9.1)からデータを登録しており、今回バージョンアップをした場合、[搬送方法]、[入院後診療科]に複数選択をしていると、JTDB とのデータ通信時に下記のような画面が表示され、データ通信が行われない場合があります。

※画面は[搬送方法]の場合です。



この場合、①[閉じる]を押し、画面が閉じた後、「移行」-「搬送方法」メニューを選択します。

すると下記画面が表示されますので、②[チェック]を押します。該当データの一覧が表示されますので、1件ずつ各 JTDB ID の③青字の箇所をクリックします。



登録画面が表示されるので、「病院前情報」-「搬送方法」が複数選択されている箇所④を、1つのみ選択となるようデータを変更し、⑤[一覧へ戻る]を押します。

データ登録 - 病院前情報

ファイル(F) 編集(E) JTDBサーバ(S) 移行(S) オプション(O) ヘルプ(H)

JTDB ID: 0011 年齢: 34 月齢: 性別: 男性 病院到着日: 2009年9月25日

患者初期情報(F2) 病院前情報(F3) 転送情報(F4) 来院時情報(F5) 検査・処置・手術(F6) 診断名と損傷重傷度(F7) 入院情報(F8)

病院前情報 病院前処置・救急隊到着時の所見

病院前情報

搬送経路(*): 現場から直接救急搬送

搬送方法(*): 未入力 救急車 ドクターカー 自家用車 ヘリ 独歩 他 不明 該当なし

消防機関名:

覚知日時(*): 年 月 日 時 分 推定 不明

到着日時(*): 年 月 日 時 分 推定 不明

傷病者接触日時: 年 月 日 時 分 推定 不明

現発日時(*): 2009年9月18日10時11分 推定 不明

病院着日時(*): 2009年9月18日10時29分 推定 不明

救急救命士同乗(*): あり

搬送時間: (自動計算) 到着日時~病院着日時

登録(X) リセット ⑤ 一覧へ戻る(B)

②～⑤の操作を、②[チェック]を押しても一覧にデータが表示されない状態になるまで、繰り返します。その後、改めてJTDBサーバとの通信をお試ください。

※上記例は、[搬送方法]の例です。[入院後診療科]の場合も同様の操作を実施します。

7 患者情報を外部から取り込むには

7.1 準備

7.1.1 外部データ取込 項目毎マッピング設定

ここでは、外部データの各項目（性別、外傷原因など）の分類と JTDB側の分類をマッピングすることができます。

外部データ取込み時には、ここで登録したマッピング情報に基づき、分類が変換され本システムのデータベースに登録されます。

メニューより「オプション」-「外部データ取込設定」を選択します。

外部データ取込-項目毎マッピング設定

ファイル(F) 編集(E) JTDBサーバ(J) 移行(S) オプション(O) ヘルプ(H)

患者初期情報(F2) 病院前情報(F3) 転送情報(F4) 来院時情報(F5) 検査・処置・手術(F6) 診断名と損傷重傷度(F7) 入退院情報(F8)

患者性別 カテゴリ(変換なし:JTDBの分類通り) 設定

外傷原因 カテゴリ 設定

外傷分類 テキスト 設定

受傷機転 カテゴリ(変換なし:JTDBの分類通り) 設定

登録 リセット 登録・検索画面へ戻る

①各項目のマッピングを設定します。

以下の3つのうち、何れか1つを選択します。

・カテゴリ(変換なし:JTDBの分類通り)

外部データとJTDBの分類が同一の場合に選択します。

・カテゴリ

外部データとJTDBの分類が異なる場合に選択します。こちらを選択した場合、②[設定]を押しマッピング情報を登録する必要があります。登録方法は、下記「**■マッピング詳細情報の登録方法**」をご参照ください。

・テキスト

外部データ側に分類がなく、フリーテキストのデータを取り込む場合は、こちらを選択します。なお、フリーテキストで取り込んだデータは、患者情報の編集画面で参照ができます。

- ③マッピング情報をデータベースに登録します。
- ④画面初期表示の状態に戻します。

上記の画面例は患者初期情報の例です。他のカテゴリ(病院前情報など)も同様に設定をします。

■マッピング詳細情報の登録方法

項目毎マッピング設定画面のカテゴリ設定で、<カテゴリ>を選択し、[設定]を押すと以下の画面が表示されます。

画面左側が外部データ側の分類、右側が本システムの分類です。
初期表示で既にマッピングがされた状態になっています。

HIS			ROOT Q for Trauma		
コード	項目名		コード	項目名	選択したコード
<input type="checkbox"/> 101	未入力		解除 101	未入力	101:未入力 x:null
<input type="checkbox"/> 102	不慮の事故		解除 102	不慮の事故	102:不慮の事故
<input type="checkbox"/> 103	自損(自殺企図)		解除 103	自損(自殺企図)	103:自損(自殺企図)
<input type="checkbox"/> 104	傷害		解除 104	傷害	104:傷害
<input type="checkbox"/> 105	労災		解除 105	労災	105:労災
<input type="checkbox"/> 106	他		解除 106	他	106:他
<input type="checkbox"/> 107	該当なし		解除 107	該当なし	107:該当なし
<input type="checkbox"/> 108	不明		解除 108	不明	108:不明
<input type="checkbox"/> x	null				

- ⑤マッピングを解除する場合に押します。
→すべて解除すると次の画面になります。

カテゴリ設定 - 外傷原因

HIS CSV 読み込み

コード	項目名
<input type="checkbox"/> 101	未入力
<input type="checkbox"/> 102	不慮の事故
<input type="checkbox"/> 103	自損(自殺企図)
<input type="checkbox"/> 104	傷害
<input type="checkbox"/> 105	労災
<input type="checkbox"/> 106	他
<input type="checkbox"/> 107	該当なし
<input type="checkbox"/> 108	不明
<input type="checkbox"/> x	null

ROOT Q for Trauma

コード	項目名	選択したコード
選択 101	未入力	
選択 102	不慮の事故	
選択 103	自損(自殺企図)	
選択 104	傷害	
選択 105	労災	
選択 106	他	
選択 107	該当なし	
選択 108	不明	

登録 リセット 閉じる

マッピングをするには、次の画面のように、⑥チェックボックスを選択(複数可)し、⑦マッピング先項目の[選択]を押します。この画面では例として外部データ側(HIS)のコード 101 と 102 を、本システム側のコード 101 にマッピングします。

カテゴリ設定 - 外傷原因

HIS CSV 読み込み

⑥

コード	項目名
<input checked="" type="checkbox"/> 01	未入力
<input type="checkbox"/> 02	不慮の事故
<input type="checkbox"/> 03	自損(自殺企図)
<input type="checkbox"/> 04	傷害
<input type="checkbox"/> 05	労災
<input type="checkbox"/> 06	他
<input type="checkbox"/> 07	該当なし
<input type="checkbox"/> 08	不明
<input checked="" type="checkbox"/> x	null

⑦

コード	項目名	選択したコード
選択 101	未入力	
選択 102	不慮の事故	
選択 103	自損(自殺企図)	
選択 104	傷害	
選択 105	労災	
選択 106	他	
選択 107	該当なし	
選択 108	不明	

登録 リセット 閉じる

マッピングをした結果、⑧にマッピングした外部データ側(HIS)のコードが表示されます。この時、⑨選択済みの外部データ側項目はグレーアウトされます。

マッピングをしなおす場合には、一度解除してから再操作をしてください。



上記の操作を繰り返し、外部データ側(HIS)の項目すべてについてマッピングを設定します。

その後、⑩登録を押します。登録は、左側(HIS)側の項目すべてがマッピングされていないと登録できません。

外部データ側(HIS)のコード、項目名は、ダブルクリックをすると編集することも可能です。

※上記の画面例は外傷原因の例です。他の項目についても同様に設定をします。

※本画面で外部データ側(HIS)の項目の行の追加はできません。行を追加する場合は、[CSV 読込]を押し、CSV ファイルを読み込みます。CSV のサンプルファイルは、デスクトップの「ROOT Q for Trauma サンプルデータ」フォルダ下の「マッピングデータサンプル」フォルダ内に格納されていますのでご参考にしてください。

7.1.2 外部データ取込 フォーマット設定

ここでは、外部データ取込機能で取込むファイルのフォーマットを指定します。本システムでは予め定めた定義で記載されているXML、またはCSV形式のファイルを取り込むことができます。

メニューより「オプション」-「動作環境設定」を選択します。

- ①[アプリケーション]タブを選択します。
- ②取込データ形式を選択します。XML または CSV を何れかが選択できます。
- ③[登録]を押します。

The screenshot shows the '動作環境設定' (Action Environment Settings) dialog box. The 'アプリケーション' (Application) tab is selected, indicated by a red circle and the number 1. The '取込データ形式' (Import Data Format) dropdown menu is set to 'XML', also indicated by a red circle and the number 2. The '登録' (Register) button at the bottom left is highlighted with a red circle and the number 3. Other fields include '取込フォルダ', 'データ出力フォルダ', '送信ファイル出力フォルダ', 'JTDBサーバ通信パラメータ', '通貨の単位' (set to '日本円'), '更新ログファイルパス', '送信ログファイルパス', '受信ログファイルパス', 'バックアップファイルパス', and 'Postgres' (set to 'C:\Program Files\PostgreSQL').

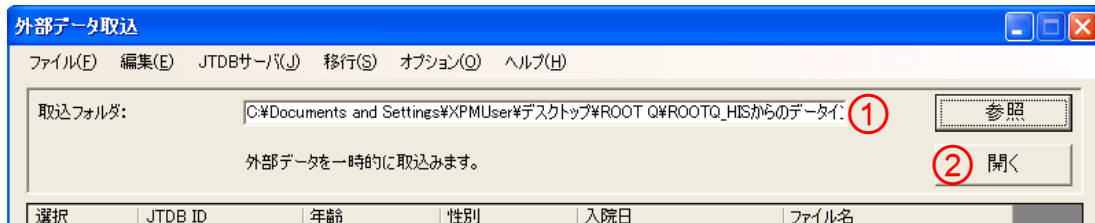
7.2 外部データ取込の実行

メニューより「ファイル」-「外部データ取込」を選択します。

①外部システムが作成したファイルを格納したフォルダを指定します。[参照]を押す ことによりフォルダを選択することができます。

②[開く]を押します。

※ 取込フォルダの表記は1例です。

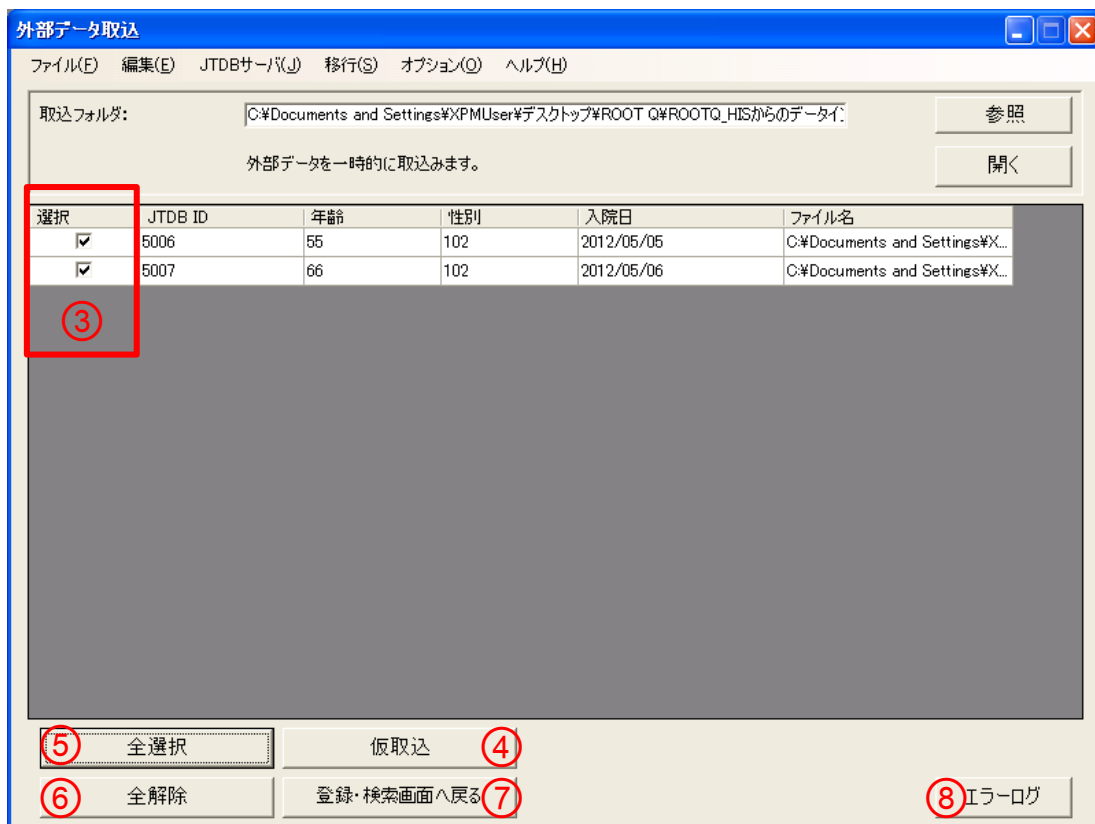


→これにより、ファイルから取り込んだ患者データの一覧が表示されます。

③ データベースに取り込むデータを選択します。

④ 選択したデータをデータベースに仮取込します。

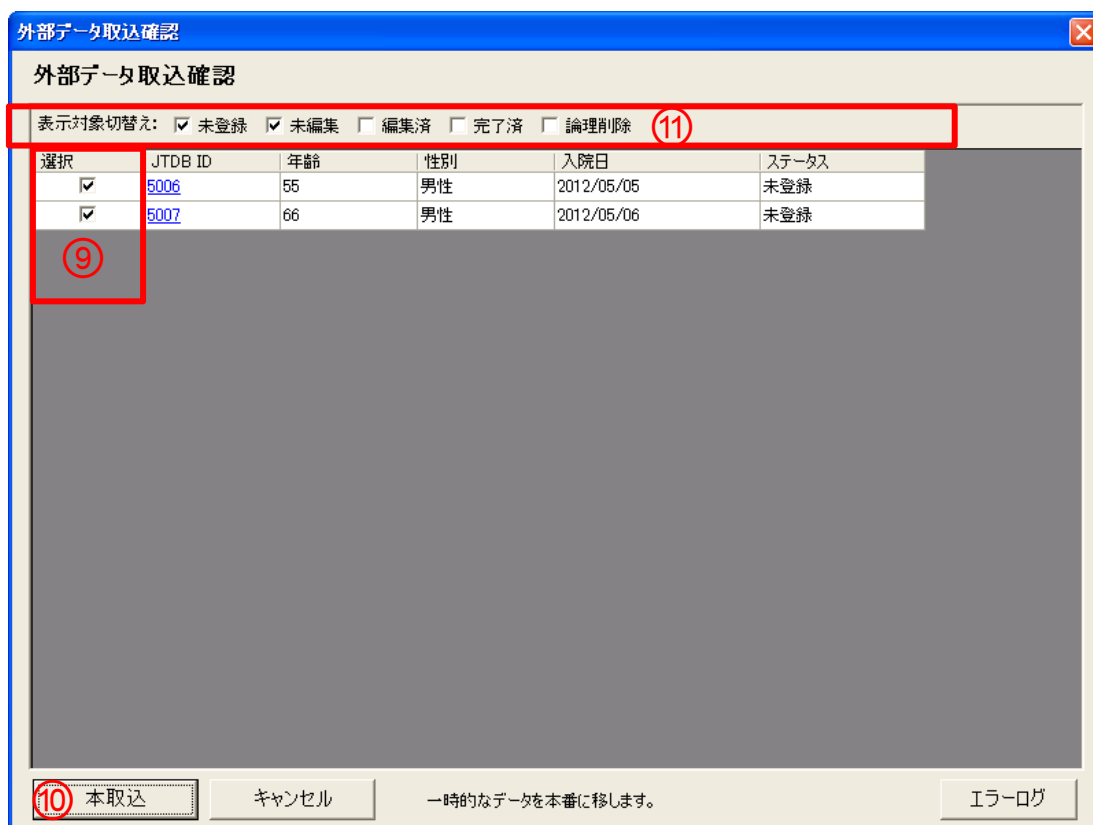
※仮取込処理は、データの件数や、コンピュータの性能により多少時間がかかる場合があります。



- ⑤全てのデータを選択します。
- ⑥全てのデータの選択を解除します。
- ⑦データ検索画面に戻ります。
- ⑧仮取込時にエラーが発生した場合にエラーの詳細が確認できます。エラーが発生する原因は、ファイルのフォーマットが不正、ファイル中のデータが不正(数値の部分に文字が入っている等)、ファイルの変換ルールが不正などが考えられます。
もし、エラーが発生した場合はログを参考にし、エラーの部分を修正の上、[開く]から再操作をしてください。

次に、外部データ取込確認画面が表示されます。

- ⑨ 正式登録するデータを選択します。
- ⑩ 選択されたデータを正式登録します。



⑪取込対象設定

本番データに取込む対象データを絞り込むことができます。
初期表示では、未登録と未編集が選択されています。

- ・未登録:未登録のデータ

- ・未編集:既に登録されているが編集していないデータ
- ・編集済:既に編集しているデータ
- ・完了済:既に入力が完了しているデータ
- ・論理削除:削除されたデータ



注意 編集済、完了済にチェックを入れて表示されたデータを取り込んだ場合、本システムで既に編集または完了したデータが上書きされますので、ご注意ください。

8 動作環境を設定するには

8.1 表示言語を切り替えるには

メニューより「オプション」-「言語設定」を選択することにより、画面表示の言語(日本語/英語)を切り替えることができます。

8.2 画面表示のフォントサイズを変更するには

メニューより「オプション」-「動作環境設定」を選択し、[ユーザ]タブを選択します。ここで、フォントサイズを9,10,11の内から選択することができます。

9 データベースをバックアップするには

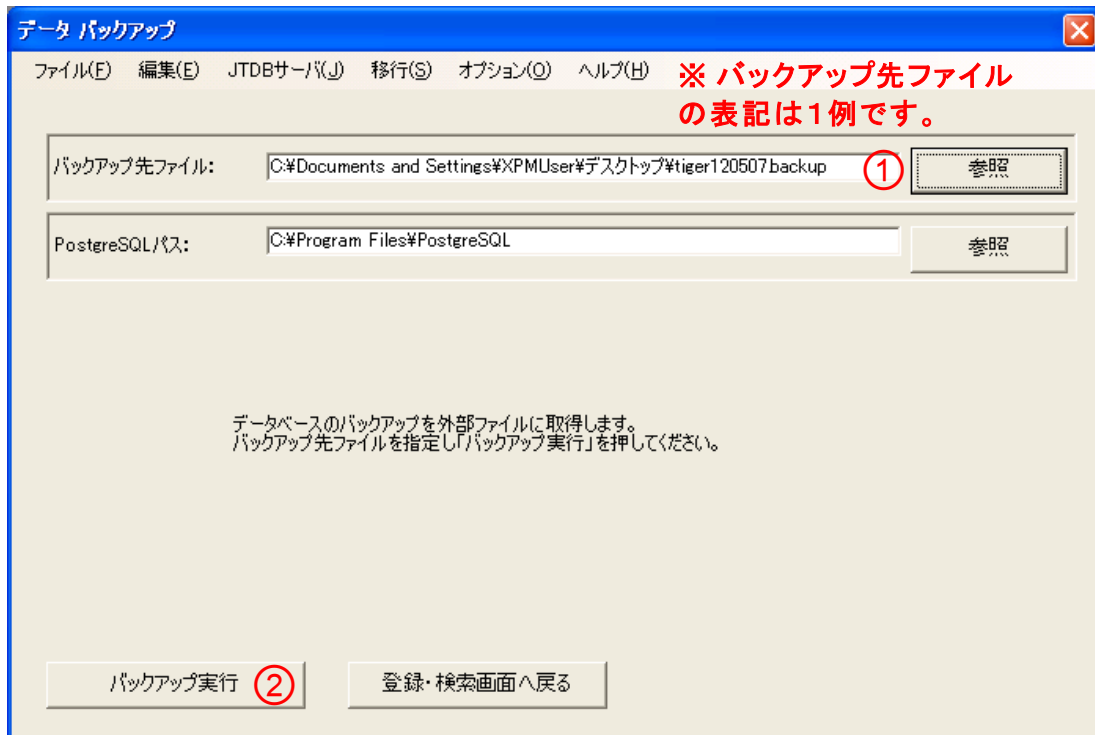
メニューより「オプション」-「データバックアップ」を選択します。

①バックアップ先ファイルの名前を入力します。

参照ボタンを押すことにより、ファイルを選択することもできます。

※データベースのバックアップは、ここで指定したファイルに保存されます。

②[バックアップ実行]を押します。



※[PostgreSQL]パスは、通常は変更する必要はありません。

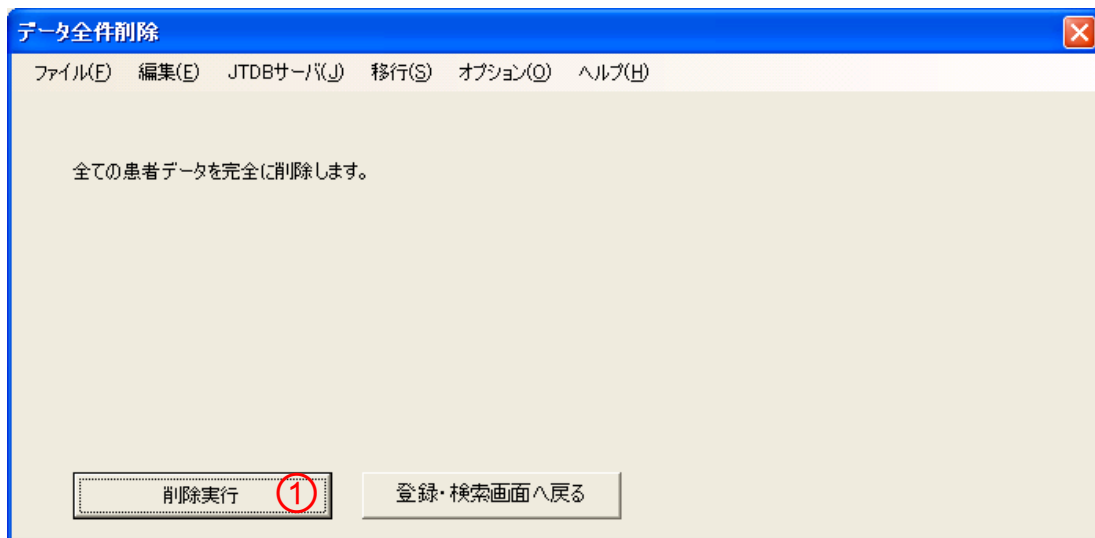
※ここで作成したバックアップファイル(*. backup) は、別コンピュータ等に保存してください。

※バックアップは定期的を取得してください。

10 患者データを全て削除するには

メニューより「オプション」-「データ全件削除」を選択します。

①[削除実行]を押します。



注意 本システムのご利用を止める場合に、本システムをアンインストールしても、登録された患者データはコンピュータから削除されません。

このため、本システムのご利用を止める場合には、本操作により患者のデータをコンピュータから完全に削除した後、システムのアンインストールをしてください。



注意 この操作を実施しても、JTDB サーバのデータが削除されることはありません。

11 データベースをリストア(復元)するには

以前に取得したバックアップから、データベースのデータを復元したい場合に本操作を実施します。

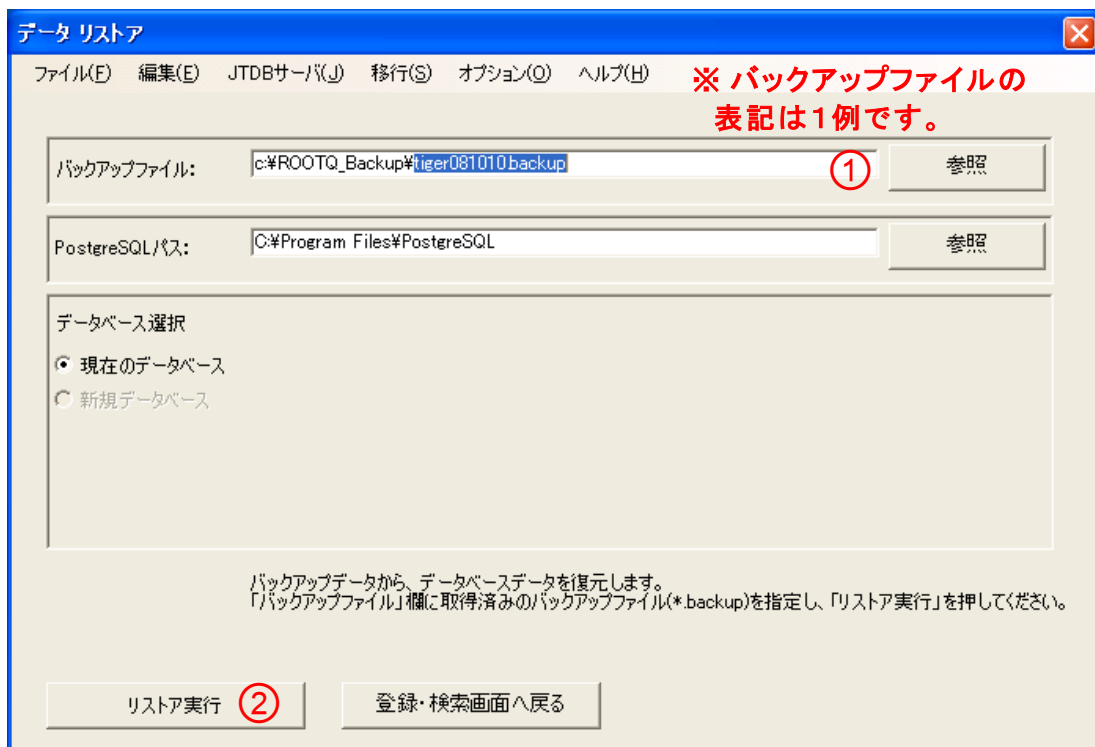
メニューより「オプション」-「データリストア」を選択します。

①バックアップファイル名に、以前に取得したバックアップファイル名を入力します。

参照ボタンを押すことにより、ファイルを選択することもできます。

※前回取得した時のバックアップファイルのパスが初期表示されます。

②[リストア実行]を押します。



※[PostgreSQL]パスは、通常は変更する必要はありません。

以上